

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	幼児発達支援センター柏学園			
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 2日		～	令和 7年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	78名	(回答者数)	62名
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 2日		～	令和 6年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	18名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>子どもが楽しく通園し、保護者が安心信頼してお任せ下さっていること。</p> <p>※一人ひとりの子どもの発達をきちんと丁寧に評価し、興味関心の幅を広げていくことができるような遊びを提供していく。</p>	<p>療育の準備、展開、反省を繰り返すこと。 子どもの発達、評価に関する研修。 保護者とのコミュニケーションの取り方。 新しい遊びのメニュー開発。</p>	<p>職員の自己研鑽へのモチベーションを向上させることについての取り組み。</p>
2	<p>集団の療育と個別の療育を実施し、実際の場面を保護者に見ていただくこと。</p> <p>※家族の形や生活パターンが多様化する中で、多種多様な利用形態を準備していくこと。</p>	<p>保護者の生活パターンやスケジュールを把握し、療育への参加ができるように配慮すること。 連絡体制の強化と無理のないお誘いをしていくこと。</p>	<p>職員のコミュニケーションスキルをレベルアップしていくための研修。</p>
3	<p>地域の関係機関との良好な関係が構築できていること。</p> <p>※併行通園への取り組みと併行先施設との関係性の構築。</p>	<p>児童発達支援センター等機能強化事業を利用して、地域の幼稚園、保育園、認定こども園、学校からの要請があれば支援を行う。 市町からの要請があれば、乳幼児期の子どもへの発達相談や健診後のフォローアップ教室を実施する。</p>	<p>相談技術や保育所等訪問支援事業にも対応できる経験豊かな職員の育成。</p>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>児童発達支援センターとして地域の核となり、地域福祉の向上に資する取り組みについて。</p> <p>※協議会への参加やこども部会の立ち上げなどを積極的に行っていくこと。</p>	<p>児童発達支援センターの機能が多様化していく中での職員の人数や様々な事業に対応できる人材の育成。</p>	<p>人材育成のための工夫を考える：OJT的な考え方で研修をしていく。</p>
2	<p>全職員が共有する時間の設定。</p> <p>※園内研修等、勤務時間外になってしまうこともある。育休明けの短時間勤務の職員等もあり、子どもへの直接的な療育時間以外で全職員が集まるのが難しい。</p>	<p>児童発達支援センター等機能強化事業やその他委託事業、通園バスの添乗等業務が多岐にわたり、また、記録や療育準備などもある。</p>	<p>有効な時間の使い方を考える：ICT化を考える。</p>
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

幼児発達支援センター柏学園

公表日 令和 7年 2月 7日

利用児童数 78 (うち毎日通園40) 回収数 62 (うち毎日通園36) 割合 79% (うち毎日通園90%)

		チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	60	2			くつろぎすぎなぐらい安心しています(笑)。/遊び場、ライブラリーなど教室以外も整っている。/あそびばが広くて良い。/広くていつもキレイでとても良い環境だと思います。/十分なのかは生活の全てを見ている訳ではないので判断できない。/各活動に合わせたスペースが不足なく整っていると思います。/十分だと思います。/	児童発達支援センターの設置基準はもちろんクリアしています。その上で、密度が高くなると落ち着かなくなるお子さんや遊具の貸し借りや順番待ちでトラブルになることもないわけではありません。園の中のどこをどう使って療育していくかを考え、スペースを有効に使う工夫をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	59	1		2	担任が4人もいらっしゃるので安心しています。/寄り添って支援してくれている。/担任の先生が4人いてとっても心強いです。/適切であると思う。/安心できる人数。/先生の負担を考えるともう1~2人増えると良いのかなと思います。/親子通園の人数が多い日は先生の配置数が足りないと感じる時がある。/先生方が何の職種(専門性)かははっきりと分かりませんが、医療ケアが必要なため看護師先生にサポートしていただいています。他の先生方との情報共有もしっかりしていただき安心しています。/	法定の職員数以上の職員配置にはなっています。保育士、児童指導員、作業療法士、言語聴覚士、看護師などを配置しています。ただし、「専門性」の定義が明確ではない現状もありますので、何ををもって専門性を評価するのかということについて、もう少し深く考えてみたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	61			1	「見える化」にしてくれているので言葉だけでは分からなかったのに日々繰り返すことで言葉だけで伝わるようになりました。/絵カードが使われており、わかりやすい。エレベーターなどもあり設備も配慮されている。/戸締り等しっかりしている。/場所や物、人などたくさん写真があって、わかりやすい環境だと思います。/個別療育の集中する課題では狭く閉じた部屋で、のびのび遊ぶときは開放的な広い空間で、とメリハリが効いているのが良いと感じます。/快適です。/問題ないかと思います。/	平成31年2月に園舎を建て替え、エレベーターを設置しました。お子さんたちが安全で楽しく過ごせる環境、お子さんたちに分かりやすい環境であることを大切にしていきたいと考えています。ワンフロアごとには、バリアフリーです。構造上2階層に分かれているため、連絡用のインターフォンや携帯電話で職員室との連絡ができるようにしています。放送設備を備えていますので、緊急放送等に使用できます。

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	62			なっていると思う。/室内の大きなあそび場があり、雨の日でものびのび体を動かして遊べるので、子供があそび場に行くのをとても楽しみにしています。/清潔にされていて、うれしく思います。/個性を理解して頂き、その時々に合わせて対応して下さるので助かります。/いつもきれいで明るい空間です。/いつもキレイで季節の飾りつけもあったり、いい環境だと思います。/清潔性、快適性が保たれ環境整備がされていると思います。/	療育終了後の清掃、消毒には力を入れていきます。教材教具の清掃消毒にも配慮していきます。コロナウイルス、ノロウイルスなど様々なウイルスにそれぞれ対応するように看護師と相談しながら消毒をしていきます。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	62			先生方の接し方で子どものことを理解してくれているのがとても伝わります。いつもありがとうございます。/こどもの気持ち最優先で療育してくれています。/受けられていると思います。/うちの子に合ったプログラムを考え、実施して下さっていると思います。/一人一人に向き合っていて得意なこと、苦手なこと、すべての先生が把握してくれているように感じます。/特性と都度の成長に合わせて支援を考えて下さっています。/日々の活動において子どもの性格特性に合わせての対応、必要に応じた調整、支援をしていただき助かります。/寄り添っていただき子供の性格や特性をご理解いただいたうえで支援をいただける。/	今後も皆様のご期待に沿えるように研鑽していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	58	1	3	合っていると思います。/相違ないです。/支援プログラムは公表されているのですか？公表している支援プログラムが分かりません。/	支援プログラムの公表は、令和7年3月までにホームページに掲載します。これまでは、入園されるまでの期間に個別にお伝えしてきましたが、今後は支援プログラムをお示ししながら説明していきます。
適切	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	60	2		よく見てくれていて適性な内容で作成してくれています。/保護者の意見を取り入れつつ子どもの現状を分析して作成されている。/作成されている。/面談を行い、個性を考えた支援計画が立てられていると思います。/前期、後期と本人にあった課題を出して下さってできるようになるととても嬉しいです。/親としてはできていないことに焦りますが、まだその段階ではないことを客観的に説明してもらえたことで納得することができました。/いつも細かく丁寧に作成してもらっている。/事前に保護者と共に作成された児童発達支援計画（書）とはいえない。/子どもの発達段階に合わせて細やかな支援計画を立てて頂いています。/とても細かく明確。/作成されていると思います。/子どもの状態を踏まえて計画を作成、親も気付かされることがありました。/	継続していきます。保護者同席で実施している個別療育の中で、保護者のニーズは伺いつつ、新版K式発達検査やKIDS乳幼児発達スケールなども、お子さんを客観的に評価していくためのツールとして使用しています。子どもの発達にポイントを合わせながら、保護者と一緒に考えたいと思っています。

な 支 援 の 提 供	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	61			1	設定されている。/面談を行い、個別性を考えた支援計画が立てられていると思います。/問題ないと思います。/子どもに合った対応、対策を考えて支援を十分していただけています。子どもを中心に親とも連携、子どもの発達に合わせて療育していただけています。/	児童発達支援ガイドラインの内容と照らし合わせながら児童発達支援計画（個別目標）を作成しています。家族支援、移行支援等の言葉使いはしていませんが、柏学園の療育そのものに網羅していると考えています。言葉の使い方も含めて今後もしっかりと説明していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	61			1	計画通りの療育を取り組んで頂いている。/集団行動もできるようになった。/苦手なことにとことん向き合って下さる。/行われていると思います。/計画に沿って子どもの現状と課題に合わせて取り組みをしていただけています。/	継続していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	53	3		6	毎日プログラムが違っており、子どもも楽しんでいる。/毎日違うことをして楽しそうです。/いろいろな活動をして下さりとっても嬉しいです。/それぞれの子が得意・不得意なものがあると思いますが、全員が楽しめる様に毎日制作、クッキング、運動、音楽など色々な療育を取り入れられていると思います。/毎回様々な活動を経験させてもらえるので、子供の興味や成長に気づけます。/家庭の様子やできる事、できない事をその時々に合わせて工夫してやってくださっています。/継続性も必要なことと思うが、それを固定化と判断するのが難しい。/家ではできない活動をたくさんさせていただき、ありがたいです。/	活動プログラムが固定化しないよう工夫していくとともに、各プログラムをどのような目的で設定し、実施しているのか説明していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	6	10	25	特に必要ないと思います。柏の子たちとの関わりで充分です。/特に聞いた事はないです。/毎日通園（柏）しており、交流保育は経験を広げる上で大切とは思いますが、心配事が増えるので現在必要としていません。/	まずは自園での療育効果を高めていくために、療育の質を高める努力をしていきます。それとともに、それぞれのお子さんに合わせて移行支援に取り組んでいきたいと考えています。指定の保育園やこども園との交流は考えていませんが、一人一人の子どもに合った交流の仕方は考えていこうと思います。特に柏学園に毎日通園しているお子さんの交流については、慎重に考えていきます。併行通園で利用のお子さんにおいては、必要ないと考えています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	58	1	2	1	ありました。/質問すれば教えていただけました。/	丁寧な説明に努めていきます。

13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	59	1	2		定期的個人面談があり、その時に丁寧に説明して下さっています。/ありました。/懇談時に計画の紙面を確認しながら支援の理解、確認、修正をしていただきました。/	項目8と同様に今後も丁寧に説明していくように心がけます。
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	57	1	1	3	定期的に行われている。/実施されている事は知っているが詳しい話を聞いた上で今後参加してみたいので是非教えていただきたい。/勉強になりました。/あまり参加できていないけど、しっかりと親も学ぶことができる。/保護者の勉強会に参加して、他の保護者の方のお話や柏学園が目指している療育についてのお話など色々聞けて、毎回勉強になっています。/すごく良い勉強になっています。/とても勉強になりますし、困りごとの対処法について意見交換もでき、ありがたいです。/祖父が参加し、大変有意義なものでしたとのこと。/参加できた事はないのですが行われています。/何回か参加しましたが気がめいり前向きになれず不参加になりました。私には合っていないのでした。個別は毎回、楽しく勉強させていただいています。/	柏学園の療育内容についてはご理解頂いていると感じていますが、家族支援プログラムについては一層わかりやすく説明しながら取り組んでいくとともに、柏学園における家族支援プログラムとペアレントトレーニング等との関係を丁寧に説明していきます。ペアトレ柏学園版を作成し実施しています。たくさんの方にご参加いただきました。内容や実施方法等、改良できることはしていきます。ただし、個別療育の中で、同様のことはやっていますので、お仕事のため参加が難しい方も増えてきたように思いますが、個別療育には出席していただくと良いのではないかと考えています。お父さんが参加されるご家庭も増えてきました。集団での研修や療育プログラムに関しては、無理な参加は強いていませんし、保護者の安心感や当園に対しての信頼感を大切にしていきたいと考えています。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	58	2	1	1	唯一先生と日々の小さな成長を共感できています。よく見てくれています。/健康面、課題面と色々な悩みを活動の記録に助言を頂いている。/電話で確認してくれたりしてくれてありがたいです。/家と柏での様子は違うことも多く、細かな変化も教えてもらえることが、とてもありがたかったです。/個別療育の際に子供の園での様子を報告して下さったり、こちらの家庭での様子もお伝えする事ができるので、子供の状況を先生と共有する事ができていると思います。/常に情報交換をして頂いているので安心しています。/連絡帳に書いたことを、次に会った時にその後どうか尋ねて頂いたり、状況確認をしっかりされていると感じます。/日々のおたよりで先生と共通できていると思います。/「園での様子」にいつも詳しく書いてくださり嬉しく思います。/理解できていると思うが十分とはいえないかもしれない。/日々の活動、健康状態など毎日お手紙で教えていただき感謝しております。/	生活・活動の記録、年20回の個別療育(内2回は個別懇談)、年2回の家庭訪問、親子参加型の行事など、柏学園のすべてのプログラムは保護者とのやり取りを通してお子さんの成長発達を確認していくためのものです。共通理解に繋がるかどうかは別として、お子さんの状況を保護者と一緒に確認しながら子育てについて考えていただく機会になればと考えています。

16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	60	2			活動の記録、個別療育で助言を頂ける機会があり感謝しています。/相談できる日を設けてほしい。個別面談等あるのであれば大丈夫です。/個別療育時に教えていただきました。/個別で悩みがあれば聞いてくれる。/個別療育で都度心配事について話を聞いてくださっています。/電話などでフォロー下さり安心。/面談とまではないですが個別や親子通園など顔を合わせる場があるので相談しやすいです。/個別や電話で相談にのってください。相談しやすい雰囲気でありがたい。/前期、後期の2回面談はあるが、十分行われているか判断が難しい。/先生方お忙しいでしょうにご丁寧にアドバイスしていただいています。/	令和6年度は毎日通園の方には個別療育年20回、併行通園の方には10回、皆さんに個別懇談年2回を計画し実施しています。親子通園(参観日)は年10回実施しています。ペアトレ柏学園版(大人のお勉強会)年5回、就学についての学習会(年長さん向け)などを実施しています。お子さんの育ちは一人ひとり違っています。一人ひとりに合わせた働きかけを大切にしていきます。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	62				子どもの成長と一緒に喜んでくれてとても嬉しいです。/何か悩んでいたりと電話をかけてくださり、とても頼りにさせてもらって感謝しかありません。/いつも色々なグチや成長したことに共感してもらって唯一分かり合える時間です。/思います。/いつも子供だけでなく親の状況も心配して励ましてもらっています。/困難な課題に寄り添い解決に向かってサポートしていただいています。/悩みごとなどを記載したときは共感などしていただいたうえでアドバイスをいただける。/	ありがとうございます。今後ご期待に浴えるようにいたします。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	30	9	7	16	月1回の親子通園もあり支援できていると思います。/父母の会及び保護者会自体提示もなく(存在しているのかも知れないが)保護者同志のつながり(連携)はない。/ペアトレや親子通園で他の保護者の方と交流する機会があります。/保護者会というものは聞いた事ないですが、親子通園等で顔をあわす事もありますのでそんなに困ってないです。/親子通園、レク等、子どもを通して他の保護者とお話ができています。子どもに精一杯なので保護者会等は考えられません。	父母の会はありませんが、保護者同士の繋がりはお子さんの療育を通して考えていただければと思っています。全員参加型の父母の会の活動にはリスクを伴うこともあるということも視野に入れ、乳幼児期の子育て期間中はできるだけ我が子の子育てに集中していただきたいと考えています。もちろん同じ悩みや不安をもつ保護者同士で学習会を行いたい等のご希望があれば療育の一環として計画していくようにしていきます。ただしお子さんの育ちや育つ環境は一人ひとり違いますので、まずはそこに焦点を当てて個別療育には力を入れていきたいと考えています。未就園のご兄弟は、個別療育その他の療育場面には一緒に来ていただいています。特別なプログラムはありませんが、行事等では同じように参加してもらっています。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	61	1			個別療育時に駐車場がいっぱいでした。おそらくペアレントトレーニングに参加されている他の保護者の方が使用されていたのかなぁと思います。/迅速かどうかは何とも言えない。/連絡帳に書いて出すと、すぐに返事はもらえるし、電話をかけてきて説明等をされるので助かります。/子供の問題等で相談した際も迅速に動いてくださり不安がなくなりました。/限られた人数の先生方での対応ですので先生のご都合でというところも十分承知しておりますが、これ以上、手をわずらわせては・・・と申し入れをできないことがあります。/	相談や申し入れをしやすい雰囲気は大切だと考えています。お子さんや保護者が話しやすい場面を設定し、職員としては保護者の気持ちをくみ取ることでできる人になれるように研修をしていきます。園長、児童発達支援管理責任者、各クラスのリーダーが中心となり、相談や申し入れがあった場合に迅速な対応ができるよう平日頃より意思疎通を図り、報告連絡相談をきちんとしていくことができるチームになりたいと思います。

20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	59	2		1	活動の記録を見て「今日何したの？」と聞いたりしています。/なにかあれば電話をしてくれたりしてくれる。/日ごろからして下さいます。/されていると思います。/理解や認識は共有できていると思います。コミュニケーションも図れています。/	お子さんや保護者との意思の疎通は、信頼関係が基盤にあるかどうか大切に考えています。そのためにも療育の質を高め、保護者に信頼してもらえるように努めていきます。緊急事態や一斉連絡のときには、Biz安否確認/一斉通報サービスという連絡システムを導入しました。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	60			2	柏だよりなどで行事予定などもわかりやすいです。/HPはあまり動きがないが紙媒体で色々発信されている。/昨年の自己評価結果（公表）にて『新しいホームページ作成中です』との回答でしたがどうなりましたか?!/	新しいホームページになりました。更新していきます。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	60			2	行事の際の写真撮影や取り扱いの注意事項を書面にして配布して下さいました。/問題ないです。/	個人記録、住所録、それらのデータが入っているPCやUSB等は職員室から持ち出すことを禁じています（持ち出す時には園長の許可が必要です）。職員室等には防犯カメラを設置しています。業務上知り得た情報は全て個人情報として捉え、家族といえども話してはならないということを年度初めの会議で毎年確認しています。また、退職する職員には秘密保持についての誓約書を書いてもらっています。今後も継続していきます。
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	49	3	2	8	訓練されていると思います。/防犯に関しては周知が少ないように感じる。/緊急時の対応について（園利用中の災害等）教えていただきたいです。/	各マニュアルは策定されていますので、それらについて説明し、保護者に安心していただけるようにしていきます。
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	59			3	活動の記録で訓練をしたことを報告して頂いています。/行われています。/定期的に行われていただき安心していきます。/	一人ひとりのお子さんをどのように避難させていけばよいのかを年度初めにクラスごとに考え、一覧表を作り、園全体で把握しています。その上で月1回の火災避難訓練を実施しています。また、地震に備えての訓練も行っています。訓練時の状況をもっときちんと保護者に伝えていくようにします。

非常時等の対応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	60			2	子供が骨折してギブスをしている状態だった為、安全に療育に参加できるかどうかを先生方がよく考えて下さった上で、電話で直接相談してくださいました。/思います。/定期的に防災訓練等をされているので、しっかりされていると思います。/玄関ホールや階段など各所にドアやゲートがあり開けっぱなしにせずカギも高い位置にあるので安心です。/保護者まで周知されているか分かりませんが基本的に安全の上、支援していただけていると思います。/	安全計画に則って子どもたちの安全には充分配慮していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	57	1		4	連絡帳やお電話でご連絡いただける。いつも細やかなご対応をありがとうございます。/小さなケガでも説明して頂いていると思います。/小さなケガでも報告してくれます。子供が自分で言えないのでありがたいです。/わが子が園でそういう状況になった事がないので分かりませんでした。/十分かどうかの基準もわからないし安全を確保するための計画についての周知もされていない気がする。/ちょっとしたケガや体調不良等など、その都度説明を受けています。/速やかとは言えない時もあると感じる。/連絡帳、TEL等ですぐに説明があります。/事故にあったことはありません。/園に通い始めてまだ事故等起きていない為。/事故等の経験がない為わからない。/子供同士がぶつかって少しキズができたくらいでも連絡帳やバスのお迎え時に報告があり徹底されていると感じます。/大きな事故やケガはありませんが、小さな変化があるとご連絡いただいています。/	怪我等がないように、環境を整え、子どもの行動を予測していけるように職員間での連携も含めて支援していきます。また、事故が発生した場合の対処の仕方も職員間で共有していきます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	61			1	とてもそう感じる。/毎日たのしく通っています！/毎日楽しそうに通所しています。嫌がることなくないです。/「柏に行くよー」と声かけすると嬉しそうにしてるルンルンで行ってます。/喜んで通っています。/安心して通園を楽しみにしています。/楽しそうです。/ニコニコしてバスに乗り楽しんでると思います。居場所がみつきり喜んでます。/バスにも進んで乗車していることから事業所でも安心感を持って楽しく通えていると思います。/いつも楽しく通っています。/通園で不安感を見せたことはありません。/気持ちや思い、感情を受け入れていただき安心感あると思います。/	安全で安心できる環境（職員の接し方も含めて）を作って行きます。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	61		1	<p>「柏だよー」と伝えるとニコニコしているので楽しい場所だと思っているようです。/バス停の待ち時間走ったりしながら待ち、バスが来ると母とバイバイして乗ることができています。/とても楽しみにしています。/毎日玄関で待機していてバスがくるとすごいスピードで乗っていきます。/いつもとても楽しみにしていて、行きたい!と言っている。/月、水、利用させていただいておりますが、娘は行く日を楽しみにしております。/毎朝バスに乗って行くのを楽しみにしていて、お休みの日にもリュックを持って「行きたい」アピールをしていました。/毎朝楽しそうに、バスに走っていく姿を見て、楽しみにしている事を感じています。/すごく楽しみにしています。/すごく成長を感じています。感謝しかありません。/前のめりでバスに乗り込んでくれている。機嫌良く帰って来ます。/言葉では表せなくても通園時や園での様子から楽しんでいるのがしっかり伝わってきます。/とても楽しく通っています。/行きしぶり等の時も子供が楽しいと思えるように工夫してくださったりして楽しくすごせています。/バスに乗ることを嫌がったことがなく、帰宅後もにこにこ過ごす日が多い。いつもありがとうございます。/毎日楽しみにしています。/現在好きな先生もいて通うことをすごく楽しみにしています。/</p>	<p>いつもご利用いただきありがとうございます。行き届かないことも多々あるかと思いますが、皆様からのご意見を伺いながら、質の高い療育を目指して参ります。ご協力に感謝申し上げます。</p>
	29	事業所の支援に満足していますか。	62			<p>小さな変化もしっかり見てくれていて親子で安心して通園できる柏学園です。/知的な遅れがあるものの、これまで成長できているのは先生方に愛され、優しく接して頂いたおかげです。ありがとうございます。/年間行事予定表などあれば都合を合わせて行事により参加しやすくなるのではないかと思います。/とっても満足しています。/柏学園に通園して本当に良かったです。子どもの成長を日々感じられています。/楽しく通わせてもらって、満足している。/コロナの関係もあるが、園へ出向く機会も少なく、水泳指導も楽しみにしていたが、結局行われる事がなかった。/心配な事とか寄りそって聞いて下さるので助けられています。ありがとうございます。/先生たちの報・連・相がちゃんとしてあるんだな~といつも思います。主人といつもすばらしい先生に出会えて良かったと言ってます。ありがとうございます。/個別レッスンが大好きなようでいつも楽しみにしています。/大変満足です。いつもありがとうございます。/しいて言うなら個別の時に目的の説明があれば口や手助けをどうしてもしてしまうのでじゃましてないかなと不安になることはあります。/満足しています。/素敵な園です。色々な人に自慢しています。いつも本当にありがとうございます。/大変感謝しております。いつもありがとうございます。</p>	<p>今年度の年長さんにとっては、2023年5月に新型コロナウイルスが5類になるまでは、個別療育や行事への保護者の参加もままならず、以降も園生活にはかなりの制約がかかった状態での療育となりました。柏学園としても集団感染を防ぎつつ、できるだけの療育を実施してきたつもりですが、やはりできなかったことも多くあったと思います。申し訳なかったと思いますが、コロナが基で園を休園にすることもなく、皆さまにご利用いただけたことが、私たちとしては唯一の救いです。本当だったらあれもこれもできたのに・・・と思われる方もいらっしゃると思いますが、お許しいただければと存じます。ありがとうございました。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		幼児発達支援センター柏学園			公表日	令和 7年 2月 7日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17	1	<p>お子さんの状態や出席者数によっては教室以外のスペースを有効活用するように工夫しています。/利用人数によってはスペースが狭いと感じることもある。/</p> <p>課題：子どもの活動意欲を満たし、動的静的な活動に合わせた場所や空間について</p>	<p>児童発達支援センターの設置基準は満たしています。教室、ホール、個別指導室、園庭、ライブラリーや廊下等のスペースを有効に使いながら、一か所の密度が高くなり過ぎないようにクラスのスケジュール等を調整していきます。</p>
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18		<p>病気やケガ等での欠員に対してフォローしている。/前に勤めていた事業所よりかなりゆとりがあります。/家族のことでお休みをいただくことも多いため申し訳なく思っています。/規定の人数には達しているのかもしれないが、職員が欠勤した場合、補充が難しい場合がある。/</p> <p>課題：どうすれば限られた人員の中で効率的により良い療育が実施できるのか</p>	<p>法定人員はクリアしています。</p> <p>福祉分野での人材不足は今日的な課題となっています。今後も保育実習や教育実習を受け入れる中で福祉分野に目を向けてくれる学生がいればやりがいや充実感をしっかり伝えていこうと思っています。</p> <p>育休制度や時短制度が充実することは望ましいことです。育児や介護が必要な職員が増えていく中で、みんなで支え合う職場にしたいと考えています。福祉の現場で働く私たちだからこそ、お互いを思いやる姿勢を忘れてはいけないと思っています。全職員で確認していきます。</p> <p>複数担任制で取り組むこと、クラスの枠に止まらず全職員で全園児を支援していくこと、状況に合わせて臨機応変に出来る限りの支援をしていくことで療育効果を最大限に引き出す方法を考えていきます。</p>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17	1	<p>鍵の位置が子どもの手の届くところにあるため注意が必要。/各部屋に放送が流れるようになっていて、緊急時にも対応できる。/スケジュールや場所の写真を使っている。スロープやエレベーターがある。/個々にあったわかりやすい環境は工夫していきたいと常々思っています。/</p> <p>課題：子どもの行動特徴の捉え方、研修と周知について</p>	<p>安全管理面で危険を感じたら、毎日の終礼時に全職員への周知徹底を図り、統一した対応策を考え、ヒヤリハット集への記入を怠らないようにしていますが、継続していきます。</p>

業務改善	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18	療育後に掃除をしている。排尿の失敗があれば消毒を行っている。/通われるお子さんの目線に合わさっていて生活しやすい環境となるよう心がけている。/毎日掃除をしており、隅々とはいかないが気になるところはその都度掃除をするようにしている。/汚れに気づいた職員が自ら動けるようにさらに意識を高めていきたい。/もう少し丁寧に掃除ができればと個人的に反省しています。/ 課題：清掃時間、人員の確保	螺旋階段のガラス清掃等手が届かない場所や危険なところは、定期的に業者をお願いしています。 療育終了後の掃除当番は決めています。併せて気づいた職員がその都度動き、整理整頓に気を配ります。教材教具の清掃消毒にも、より配慮していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18	子どもからの要求や状況に応じて落ち着ける環境や遊べる環境を整えている。/子どもの状態に合わせて使用をしている。/切り替えが上手くできない子どもに対して個別の部屋で落ち着いて過ごすお子さんもいる。/集団で過ごすことが苦手なお子さんに対しては個別に対応することがある。/一人で遊びたい、落ち着きたい時に個室を利用している。/個別の時など子どもに応じて使用させてもらっています。/	集団療育の場と個別療育の場、ホールやあそび場、園庭など必要に応じて使用できるようにいつも整えています。個別療育の個室が5部屋と個別相談室も利用することが可能です。
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18	職員が集まり話し合いをしている。/ 課題：効率的な業務の進め方	日々の療育や行事等、より良い療育ための計画、実行、評価、改善の話し合いは実施しています。記録の時間や準備にかかる時間を少しでも生み出すことができるように、時間をどう有効活用していくかを考えていきます。周りを見ながら目配り気配りができる人になるための人材育成研修を実施していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	保護者の意向や要望は各クラスの担任から全体へ周知されていると思う。/毎年実施し、保護者の意見から改善に繋げている/	保護者向け評価表だけに限らず、個別療育や個別懇談を年間20回実施を計画しており、療育のことだけではなく、ご家庭のことや保護者からのご意見を伺う機会にもしています。その中で色々なご意見については、その都度考えさせていただいています。毎年ご意見をいただいております、感謝し、今後に繋げていこうと考えています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	従業者向け評価表により意向を把握している。/意見を言いやすい雰囲気であるよう心がけている。/	日々の細かな業務改善については、終礼や会議で申し合わせるようにしています。また、年に1回の計画会議では、業務分担を明確にし、責任者を設けてその業務が速やかに適正に行えるようにしています。
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	9	第三者による外部評価は実施していない。/外部評価は行っていないと思う。/ 現在は行っていません。今後については検討中です。	

10	職員資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	18	年間を通して計画し行っている。その他にも学びたいことがあれば、その都度機会を作っている。/研修に参加、日々の療育についての悩みに対するアドバイスで新しい発見がある。/向上意欲を高くして、常に研修会を実施するよう心がけている。/療育において分からない事などをまとめ、職員間で話し合いの研修を行っている。/年に約20回研修を行っている。/たくさん研修に参加しました。勉強になりました。/職員の勤務形態が多様なので全員揃っての研修は難しいため、研修の時間を複数パターン設定するなど工夫して実施している。/園内研修を定期的に行っています。/	園内研修を年間20回実施しています。職員自身学びたい外部研修があれば極力参加できるようにしています。日々の療育を担当間、必要に応じて園長や専門職、児童発達支援管理責任者を交えて振り返り研修していくようにしています。終業時間を越えることもありますが、できる限り時間内に研修時間がとれるように工夫したいと考えています。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	18	保護者からのニーズを基にプログラムを作成している。/公表には至っていない。/	令和7年3月末までには柏学園ホームページに公表いたします。
12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	18	精度をさらに高めていけるよう研鑽したい。/多職種の職員の視点、発達検査等を踏まえて複数の職員で話し合っている。/計画、目標はクラス担任全員で考えています。/次年度への引き継ぎはしっかり時間を取って行うようにしている。/	継続していきます。
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	18	同席できない場合は事後に報告、検討している。/	子どもの発達を適正に評価することや子どもを取り巻く環境を考慮し、計画を作成しています。複数担任制であり、児童発達支援管理責任者とともに話し合いをしながら行っています。
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	18	クラスごとに年間計画、月案、日案等を話し合いながら策定しています。/常にチームとして行われている。/週案、月案などを用いて計画に沿った支援内容となるよう見直し取り組んでいる。/	継続していきます。
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	全園児に新版K式発達検査、KIDS乳幼児発達スケールを用いてアセスメントを実施している。/必要に応じて遠城寺式乳幼児分析的発達検査、WISC-IVを使用している。/	一年に一回は、新版K式発達検査を実施し、KIDS乳幼児発達スケールは、学期始めに、また、子どもの変化を感じた時等に行っていきます。子どもの発達をどう捉えていくのかは我々が常に考えていく最も大切なことだと考えています。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	18	ガイドラインに示されている内容はもちろんのこと、クラス療育と個別療育、発達検査等の結果を通して子どもの状態を把握するとともに、年25回の個別療育、年2回の家庭訪問、個別懇談を実施し保護者のお考えや療育についてのご希望、生活全般の困り感等について把握していくように努め、その上で支援内容を設定している。/	継続していきます。

17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18		子どもたちの興味関心、発達の様子を話し合い立案している。/毎月時間を設け、クラスの職員で話し合って決めている。/常にチームで行っている。/毎月クラス職員で考えている。/その都度話し合ったり、振り返りをする機会があります。/チームで行うように心がけているが時間が取れないこともある。/毎月クラス担任で集まり月案を立てている。親子通園の日案を話し合っている。/	継続していきます。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	18		子どもたちの興味関心の高いこと、季節柄など加味している。/月ごとに項目ごとの活動を変えている。/クラス職員間で話し合い計画している。/季節に合わせたものを行うようにしている。/新しいプログラムも取り入れるようにしている。/私は工夫がまだまだ足りないと思いますが、他の先生方を見て学んでいます。/曜日によって活動が固定化しないようにしている(併行通園の子どもたちも多いため)。/課題：新しい遊びの開発	新しい遊びの開発については、事業計画の中にもプロジェクトとして入れ、力を入れたいと考えています。豊かな発想のもてる職員育成を目指していきます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる見直しや発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18		全園児にクラス療育と個別療育を実施している。/	継続していきます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	1	支援内容の確認(前の時の様子の共有など)をしている。/心がけているが必ずできていない。/細かく確認している。/必ずではないが時間の取れる時にできるだけ行っている。/毎日みんなで行うことはできていないが必要な情報は必ず共有するようにしている。/話し合ったり、その都度自分なりに考えたり、足りないところを助言いただいたりできていると思います。/時短勤務のため前日に確認できていないこともあります。朝は必ず職員間で打合せするように声かけています。/朝は時間が取れないときもあるので前日に行ったりメモで確認したりします。/課題：職員が共有できる時間の作り方	大まかな計画は月案、週案を立案する流れの中で、職員間が共通認識し、準備にあたっていきます。1日のスケジュールの中で、通園バスの添乗や時短の職員もいるので、支援開始前という限定的な時間では打ち合わせができないことも確かにあります。ただし、特にお子さんの健康状態や家庭状況等での連絡事項が滞らないように支援開始前に確認し、その場には職員への連絡はノートやホワイトボードへ記載していきます。クラス4人の複数担任制で、4人が共有できる時間については考えていきたいと思っています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16	2	毎日必ず難しいが気付いたことはすぐに伝え合うように心がけている。/日々、気付いたことは共有している。ノートも活用し、いない職員にも伝えていく。/心がけているが必ずできていない。/全体に反映されるよう心がけている。/その日にあった出来事や気になったこと等があれば職員間で共有している。/話ができない場合はノート等を活用して共有するようにしている。/支援の仕方、子どもの様子などを担任同士で話し合うことで次の日からの療育の質が上がっていると思います。必ずというところが難しいです。/必ずではありませんが、できるだけ話すようにしています。/外来等で話せない事があっても翌日に伝えたりメモで伝えるようにしている。/	継続していきます。バス添乗や園外派遣の仕事もあり、全員が終礼に出ることが難しい場合もあります。必ず全職員が知っておかなければならないことは伝言ボードや連絡ノートに記載して周知徹底を図っていきます。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18		日々の子どもの状態、個別療育、週案、月案、家庭訪問等は記録をとり個人ファイルに整理するようにしている。/記録するのに時間がかかり、振り返りの時間が少ない。/	例えば、医療・療育カルテや個人記録票等、園独自の記録フォームを作成しています。誰が読んでも分かりやすい記録を目指したいと考えています。継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18		半年に一度モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。/	こどもの状態が大きく変わった時は、その都度見直していきいますが、概ね6か月に一回は必ず見直していきます。継続していきます。
関係機関や保	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18		出来るだけ現場スタッフの参画も進めたい。/先輩職員が参画されている。/児童発達支援管理責任者、または担任が参加している。/	児童発達支援管理責任者、園長、クラス主任で対応しています。相談支援事業所と時間の調整が難しいと感じていますが、出来るだけ参加していきます。継続していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	17	1	健診後のフォロー教室、発達相談、療育相談、保育園や幼稚園への巡回訪問等に職員を派遣している。/	市町の母子保健事業の委託を受けてきたこと、児童発達支援センター等機能強化事業を受け、幼稚園や保育園への支援を継続してきたこともあり、他機関との連携はとりやすい状態にあるといえます。地域の関係機関と連携することは重要なことだと考えています。継続していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18		丁寧にするよう心がけている。/併行通園を実施していること、保育所等訪問支援や施設支援、巡回訪問等を実施していることから、近隣の保育所やこども園、幼稚園とは連絡の取りやすい状況にはなっている。/	継続していきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18		就学前に一人ひとりの子どもの記録票を作成し、伝えるようにしている。/小学校側と理解が深め合えるように伝え方を工夫している。/	継続していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	17	1	他事業所の方が見学に来られていました。/近隣の児童発達支援事業所に声をかけ、連絡協議会を立ち上げ、研修を実施している。/セミナーなどの研修会を実施している。/	地域の核として児童発達支援センターの機能強化に取り組んでいきます。
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	18		外部講師を招いての研修を実施している。/	外部研修には極力参加できるように勤務体制を整えていきたいと考えています。新しい情報は常に意識しておくことが大切であり、外部研修を受けた職員からの報告も園内研修の材料にしていきます。また当園の職員が講師として参加する研修も多々あり、園内研修にも生かし、経験年数の浅い職員の知識の底上げをしていきたいと考えています。継続していきます。	

護者との連携

30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	4	上司が出席している。/町の協議会に子ども部会等が設置されていないが全体会と相談支援部会には参加している。/上司がしている。/	理事長、園長、児童発達支援管理責任者、相談支援専門員等が出来る限り出席しています(協議会子ども部会、子ども子育て会議、各市町の福祉計画策定会議など)。継続していきます。直接処遇の職員については、自立支援協議会の役割等の研修をしていきます。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	6	12	機会は少ないが施設内にあるプレの子どもたちと関わる時はある。/プレのお子さんと同じ空間で遊ぶことは時々ある。/ 課題：保育園、認定子ども園、幼稚園との交流の是非について考える	まずは自園での療育効果を高めていくために、療育の質を高めていくように努力していきたいと考えています。その上で子どもに合わせて移行支援に取り組んでいきます。併行通園をしている子どもたちもたくさんおられ、通っている保育園、幼稚園とは連携していくようにしていきます。柏学園のみのご利用の方については、慎重に考えていきます。
33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	18		個別療育の際など話せるように心がけている。/毎日の手紙のやりとりを通じて行っている。/親子通園や個別療育等でお話する機会がある。/日々のお手紙や個別でお話をしたり電話でお話をしたりする。/家族支援の重要性についてさらに認識を高め、支援できるよう研鑽したい。/日々のお手紙や電話連絡、個別療育を通して共通理解を図っている。/	毎日の生活の記録や活動の記録を使って日々の家庭と園との情報交換は行っています。保護者との共通理解を深めるための場として個別療育、家庭訪問、個別懇談、親子通園等のプログラムがあります。継続していきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	18		個別療育の中で保護者に伝えるようにしている。/ペアトレを行っている。/ペアトレ(大人のお勉強会)を行っている。/多くの保護者が受けられるよう工夫したい。/個別療育や手紙でのやりとり、電話などで対応している。/	柏学園の療育の大きな柱として家族支援を考えています。柏学園としての家族支援プログラムについて研修していくとともに、ペアレントトレーニング等との関係を整理していきます。どういう形をとるかということは、保護者の状況や考え方等によると考えています。そのご家族の状況を考えて、最も効率的な療育を提供していきたいと考えています。継続していきます。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17	1	園内に運営規定は掲示している。/入園時に説明している。/	継続していきます。
36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	18		個別療育、懇談、家庭訪問の場がある。/	継続していきます。

37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	18		個別療育や家庭訪問時に行っている。/	継続していきます。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17	1	個別療育で出た保護者の方の悩みを他の職員と共有し、助言や支援を行っている。/親子通園や個別療育等でお話しする機会がある。/相談があった場合、直接お話しすることや園長に相談してから保護者に答えるようにしている。/これからもっとがんばりたいです。/先輩方と相談しながら保護者の方の悩みと向き合っています。助言もさせていただいています。/自分で答えられないときにはクラスに持ち帰ったり、上司に相談の時間をとってもらう等しています。/個別療育や手紙、電話のやりとりで対応している。/	個別療育、個別懇談、家庭訪問等を通して子育ての悩み等にはタイムリーに対応するようにしています。必要に応じて園長や専門職との懇談を行うようにしています。継続していきます。
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	9	親子通園の際に保護者同士が話せるような空間を作るよう心がけている。/親子通園で保護者同士で話をしていることはある。/ペアトレや親子通園のことなら、そうだと思います。/ペアトレや親子通園の中で保護者同士が関わり合えるような会話は心掛けています。/保護者会はない。/	父母の会（保護者会）としての活動を通して得るものが多いと感じることが出来る人もいれば、保護者同士の関係が難しくなる人もいるという現実を踏まえ、わが子の育ちに敏感になる時期でもあることから、出来るだけ子育てに集中していただける環境を作りたいと考えています。クラス学習会や親子通園、行事等を通して、保護者同士の交流は継続していきます。個別療育や各行事、親子通園日の療育には、未就園のご兄弟はお連れ頂いても良いこととしております。継続していきます。
40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	18		その都度直接相談を受け、対応しています。/最も適した人が対応し、その後情報共有が必ずされている。/担任が受付窓口にはなるが、質問や相談によっては園長や児童発達支援管理責任者、専門職へ繋いでいけるようにしています。/園内に意見箱を設置し、苦情解決窓口の案内を掲示しています。/意見箱は設置しているが活用されたことはない。/相談等あった場合は速やかに対応するよう努めている。/できるだけ早く対応するようにしている。/	継続していきます。
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	18		行事予定は年間の大まかな日程でも知りたいと保護者から言われることがある。/お仕事をされている方には早めに行事等の予定をお手紙でお知らせしている。/かしわだよりというおたよりを毎月、柏の芽という法人の機関誌を年3回発行しています。/ホームページは更新する頻度が少ないので最新の情報が分からないという意見を受けたことがある。/	新しいホームページができました。適宜更新していきたいと思います。月一回の発行にはなりますが、おたよりを出しています。緊急時にはBiz安否確認/一斉通報サービスという連絡システムを導入しています。継続していきます。
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18		注意しています。/気を付けています。/PCの積極的導入を促進し、紙ベースからデータベースへ移行し、セキュリティレベルを上げていきたい。/	個人記録、住所録、それらのデータが入っているPCやUSB等は職員室から持ち出すことを禁じています。持ち出す時には園長の許可と持ち出し記録の記入が必要です。職員室には防犯カメラを設置しています。退職する職員には秘密保持についての誓約書を書いてもらっています。継続していきます。

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18		十分ではないかもしれませんが配慮する努力はしています/主な活動でない時の様子も連絡帳でお伝えしているように心がけています。/	継続して、個人に合わせるように配慮していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17	1	地域の方との関係は少ない。/園の周りの溝掃除を町内会とともに割り振って実施しています。法人ふれあい祭という行事を開催し、地域の方を招待しています。/	継続していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	18		各種マニュアルを作成し、職員研修等で情報を共有するように努めています。/通園バス乗車等に災害（地震発生時や津波が発生する可能性がある場合など）に見舞われた場合、対応方法として電話で指示を仰ぐことは前提として、何かマニュアルがあればよいと感じる。/研修を行っている。/感染症対応の仕方は周知しているが、嘔吐など想定したシミュレーションをもっとすべきだと思います。/	火災、地震時の避難訓練は実施していますが、防犯、不審者、津波等への対応や訓練ももっと実施していきたいと考えています。BCP計画を策定し、それを基本に考えていきます。保護者へは、かしわだより（月1回発行のおたより）にて伝えていくようにします。大きな災害時の対応について、情報を整理してできることを事前に考えておきたいと考えています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	18		月に1回避難訓練を実施しています。/毎月避難訓練を行っている。/毎月行っている。/避難訓練や防災訓練を行っている。/BCPIは策定されている。/	継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	18		入園時に医療カルテへの記載、聞き取りを行い確認しています。/把握、共有している。/書類にまとめ周知している。/目に見える状況にして対応しやすくしている。/職員間でしっかりと確認し合い、適切に素早く行動できるように行っている。/バスにも毎日確認をして薬（ダイアップ等）を持って行っている。/年度初めに確認、変更があればその都度報告、確認をしている。/定期的に状況を確認し、変更等あった場合にはその都度連絡し合うようにしている。/	全職員が確認し、継続していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18		医師の指示書に基づいて対応しています。/アレルギーのある子どもについては毎年、医師の指示書を提出してもらっている。/指示書をもとに除去食の提供、アレルギーのある子ども一人一人の専用のトレイと名札を使用している。/	継続していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18		ヒヤリハット事案はすぐに園長に報告し、報告書へ記入、終礼等で報告し、全職員で共有することとしています。/研修を計画し、実施している。/危なかったこと、ヒヤリとしたこと等はみんなに伝え、職員間で共有しています。/	安全計画は作成しています。全職員に周知し、一人ひとりが意識をもっていくことを研修していきます。

50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	18		通園バス乗車等に災害に見舞われた場合連携等は検討の必要がある。/	想定されるすべての場面において、家族との連絡、連携が速やかにとれるように考えていきます。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	18		ヒヤリハットに記入すると共に終礼等で情報を共有している。/ファイルにまとめ、周知している。/作成しているがまだまだ活用が十分ではないように感じている。/	継続していきます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	18		研修を行っている。/研修を計画している。/時短勤務のため参加できていないですが、資料を読んでいます。/	継続していきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18		通園バスのシートベルトの着用について了承を得ている。/記載し、説明を行っている。/研修の機会などもあり、自分なりに理解する場が設けられています。/バスのベルト着用について同意を得ている。/療育計画に記載し、保護者への説明を行っている。/保護帽、各種装具の必要なお子さんには、保護者の意向をもとに医師の指示を児童発達支援計画に記載している。/書面にて保護者に説明、了承後にサインと捺印という流れが徹底している。/	こどもの命を守り、安全に過ごすこと、こどもの最善の利益とは何かを深く追求し、保護者にも信頼していただけるように考えていきます。継続していきます。